

# 大田市内の希少動植物を守りましょう

絶滅の恐れがある「大田市指定希少動植物」を、採取、捕獲、殺傷、損傷してはいけません！

しまねレッドデータブックから引用

## イズモコバイモ (ユリ目ユリ科)

環境省レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類  
しまねレッドデータブック 絶滅危惧Ⅰ類



山地林内に生える草丈15～20cmの多年草。花は4～5月に咲く。鳥根県の固有種だが、県内での生育地は限られていて生育地での個体数も多くない。一方で自然保護団体や個人による生育地の保護、保全が図られているところもある。市内では大江高山周辺に生育地があり、大代高山会や高山小学校、大田の自然を守る会による継続的な保護活動が行われている。存続を脅かす原因は、林内遷移、照葉樹林化、園芸上での採取。

## オキナグサ (キンポウゲ目キンポウゲ科)

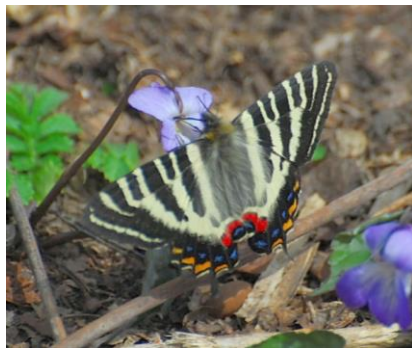
環境省レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類  
しまねレッドデータブック 絶滅危惧Ⅰ類



草原に生える草丈20cmほどの多年草で全体に白毛が多い。花は4～5月に咲く。花が咲いた後の種子は長い毛があり、それが密集して老人の白髪のように見えることから翁（オキナ）草と呼ばれるようになったと言われている。市内の生育地は三瓶山に限られており、大田の自然を守る会の指導で北三瓶小学校の児童が育苗し、地元の人たちと西の原に移植する活動を続けている。存続を脅かす原因は、環境変化、河川での洪水、園芸上での採取。

## ギフチョウ (チョウ目アゲハチョウ科)

環境省レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類  
しまねレッドデータブック 絶滅危惧Ⅱ類



翅（はね）が黒と黄色の縞模様で日本特産種。成虫は年1回、3～5月に発生する。県内に広く分布しているが、開発や環境の変化で個体数や生息地自体も減少傾向にある。市内では大江高山周辺に生息している。大代高山会や高山小学校、大田の自然を守る会による継続的な保護活動が行われている。存続を脅かす原因は、大規模な土地開発、雑木林の手入れ不足による荒廃、商業目的や鑑賞目的の乱獲（採集圧）。

## ヒロハノカワラサイコ (バラ目バラ科)

環境省レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類  
しまねレッドデータブック 絶滅危惧Ⅰ類



陽当りのよい河原や砂質草地に生え、黄色5弁の花を夏に咲かせる。同属のカワラサイコより小葉の裂片が広い。鳥根県内の生育地は三瓶山に限られており、過去には西の原の草原内に多くの個体が生育していたが絶滅してしまった。現在、大田の自然を守る会の指導で池田小学校の児童が育苗し、地元の人たちと西の原に移植する活動を続けている。存続を脅かす原因は、遷移による生育地の樹林化、園芸上での採取。